

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	障害者支援施設検討部会
開 催 日 時	令和8年1月21日(水) 17:00~18:00
記録担当委員	長岡 好
<p><b>【協議概要】</b></p> <p>○ 障害者支援施設の視察結果について、資料1及び資料2のとおり事務局から報告があった。</p> <p>① 社会福祉法人武蔵野会 リアン文京</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リアン文京が入っている文京総合福祉センターは、総合的な福祉拠点として障害者支援施設、障害児通所施設、基幹相談支援センター、子育て支援事業、高齢福祉サービス事業、地域貢献事業を実施している。</li> <li>・ 都市型施設で、障害者・高齢者・子育てのそれぞれのサービスの入り口が分かれており、駐車場と障害者基幹相談支援センター（地域の相談機能）が1階にある。</li> <li>・ 地域の方への取組として、視聴覚室、地域活動室、料理教室の貸出しを行っている。</li> <li>・ 看護師や栄養士など、スタッフがそれぞれのサービスを行き来している。</li> <li>・ 見晴らしのよいローカウンターは利用者の方がカウンターを飛び越えてしまうため検討が必要とのこと。</li> <li>・ 汚物処理施設は後から機械を入れたため、大変だったとのこと。ランドリーには大きな換気扇があった。</li> <li>・ 埋蔵文化財の遺構保全についても展示がされていた。</li> </ul> <p>② 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 清瀬育成園ひだまりの里きよせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所者60名はほぼ障害支援区分6の方となっており、特に強度行動障害の受入人数は都内でも類を見ないほど多い。</li> <li>・ 建物自体は珍しく木造3階建てとなっており、障害福祉サービス事業のほか地域交流スペース、会議室の貸出しを行っている。</li> <li>・ ファームが室内にあり、天候に左右されずにルッコラなどを水耕栽培していた。安定的に作業ができる。</li> <li>・ 手をつなぐ育成会が主体となり、児童施設に入所している障害児の18歳以降の居場所作りとして開設された。事前に入所予定の利用者の顔が見えていた状態で設計され、どう運営・工夫していくかスタッフや現場の声も聞きながら作られており、地域からも受け入れられていた。</li> <li>・ ランドリーとランドリーの間にタオルが置いてあり、ケアの効率化のために便をふきとってから洗濯するように工夫されていた。</li> </ul>	

○ 委員から、以下の感想があった。

- ・ 様々な施設がある中、視察した施設の規模くらいのものでできれば理想だが、小金井市内で確保できる土地の広さからどのようなものがあるのか、どういう支援ができるのか選択していくこととなると思う。また、安定的な運営という視点から収益のことも考えていかなければいけない。
- ・ 小金井市内には大型マンションができてきており、児童発達支援など未就園児向けのサービスが不足しているため、機能として求められているのでは。若い世代や保護者も利用できるような施設が必要。
- ・ 2階にある業務用のランドリーが古くなった際、入れ替えることを考えて1階にあった方がよかったという話があり、建物内の設備配置について参考になった。
- ・ リアン文京は、障害以外の施設も併設されていて、地域に開かれている。小金井市でもそのようにできたら理想だと思う。
- ・ ひだまりの里きよせは児童からの移行ということもあり、強度行動障害の方には本当に手厚い施設だと思う。
- ・ 施設内で様々なサービスを展開することで、職員のニーズに合わせた異動もできるため、全体としての離職につながりにくい。
- ・ 多くの入所施設が孤立化していると聞く。家族も高齢化が進み、コロナ禍が開けても、以前のような盛り上がりみたいなものはなく、寂しさを感じる。施設に外部の人の風が入ることで活性化する。
- ・ 職員が記録をとることや、パソコン作業を行うことを考えると、利用者の行動を想定した構造が必要。
- ・ 以前視察にいった小平福祉園と今回のリアン文京は同じ運営母体で、建物も立派でデラックス。広い会議室が地域の住民にもオープンにされていて孤立化を防げると思った。小金井市では市民団体が利用できる会議室がなく苦労している。
- ・ 高齢・障害・児童という行政が縦割となっている中、それぞれで連携して建設費の補助をきちんと出せるのか。小金井市に以前聞いたところ、できないと言われた。しかし、とても参考になった。

○ 事務局から、以下の発言があった。

- ・ 国としては入所施設を減らしていく方針がある中、地域で求められる機能が充足すれば入所施設の必要はないが、まだすべてのニーズに充足しきっていない状況があり、地域に向けたサービスを併設する「地域生活支援型入所施設」を検討していくことが必要となっている。
- ・ 次回の視察は1月26日（月）にシャロームみなみ風（新宿区）に伺うので、質問がある委員は事前に事務局へメールで提出を。

**【次回の開催日程】**

令和8年3月11日（水） 17：00～ 本町暫定庁舎第3会議室